和泊町の世之主の墓

【所　在　地】大島郡和泊町内城 808
【種　　別】県指定史跡
【指定年月日】昭和 41 年３月 11 日

世之主の墓

世之主・奥方・嫡子の甕

和泊町の内城にある琉球の方形納骨堂様式の墓である。石灰岩の岩山をくり抜いた玄室は南向きで，南北 3.3m，東西 5.2m，高さ 2.5m の大きさである。内庭は奥行４ m，幅 10m で石垣で囲まれている。外庭は 10m 四方の広さで，内庭と同じく石垣で囲まれている。

玄室には世之主とその妻，嫡子の厨子甕が中央に，家臣４人の厨子甕が四隅に安置されている。

15 世紀頃，沖永良部は沖縄の北山王の支配下にあり，北山王の二男が沖永良部島主すなわち世之主であった。中山王が沖縄を統一し，沖永良部に和平の船を遣わしたが，世之主はこれを征伐の軍と誤解し，家族とともに自害したという。